



大学図書館と相互貸借

咲尾 佳秀

I. はじめに

大学図書館と病院図書室との相互貸借業務で、大学図書館側から不満が出るのは、「相互になっていない」ということである。

相互貸借には、(a) 図書館間での資料の提供(複写、現物貸借)と、(b) 利用者が他機関の図書館を利用すること(訪問利用)の二つの形がある。どちらも病院図書室から大学図書館への一方向しかないのが現状である。

従来の冊子体の二次資料とは異なり、文献データベースでは関連文献を容易に検索でき、利用者からの文献要望は増加傾向にある。一方で、複写依頼および受付には限度がある。どこの図書館でも、人をやりくりして業務を行っていると考えられる。あまり語られていないようだが、「限度」に達したとき、図書館としてどう対応するかが問題で、病院図書室はその影響を第一に受けることにならないだろうか。

今後は、病院図書室も「相互」にする方向に進まなければならないだろう。そこで、「相互」にするための具体的な方法を探るとともに、電子ジャーナルの動向が相互貸借業務に与える影響についても記述したい。

II. 病院図書室から大学図書館への複写依頼における問題

病院図書室から大学図書館に複写依頼する場合の障害として、

- (a) 複写依頼そのものを謝絶されること
 - (b) 現金書留前納制などの支払方法に問題があること
 - (c) 地域外の大学図書館に複写依頼して謝絶されること
- などの例がある。

(a) は門前払いということになるが、謝絶された理由を聞いてみることをおすすめしたい。理由が分かれば対応策が取れる。

(b) は国立大学に複写依頼した場合などの問題である。これは、会計規則上解決策はないだろう。その図書館にしか所蔵がなければ、申込者に了解を得た上で依頼すること。

(c) の場合で、その図書館だけの所蔵であれば、そのことを伝えた上で交渉するしかない。ただし、国内の文献であれば、医学中央雑誌刊行会に複写依頼する方法がある。また、海外の文献であれば、英国図書館に依頼できることも考慮に入れておきたい。

III. 病院図書室での文献複写受付体制の確立

病院図書室として文献複写受付を始めるときに、どのようなことを準備すべきか具体的に挙げていきたい。

1. 所蔵目録の整備

所蔵目録を整備し、公開すること。雑誌だけでもよいと思う。

冊子体にこだわる必要はない。図書室のホームページ上に公開する方法がある。例えば、所蔵雑誌のページを作り、アルファベット順に並べる。検索については、ブラウザの検索機能を使ってもらう。

同じページに、複写申込の方法、支払方法、連絡先などを書き、その情報をもとに複写依頼できるようにしておくこと。

2. 料金の設定

コピー単価を設定する。1枚あたりなのか、1ページあたりなのかを明確にしておく。なお、大学図書館等の複写料金は、1枚あたり20～60円の範囲になっている。

通常は、単価×枚数+送料(実費)が複写料金となるが、業務の煩雑さを考えると、複写枚数にかかわらず、1件あたりの料金を設定する方法もある(複写枚数が多い場合は別料金とする)。

3. 決済方法の指定

複写料金の支払方法を定める。病院の管理部門と協議する必要があるが、決定的な方法は考えられないが、次の方法が挙げられる。

(1) 郵便振替

一般振替口座を開設し、郵便振替により払い込んでもらう。支払い時には、受付番号、料金を通信欄に明記してもらう。通信欄は複写されて、払込先の口座宛に郵送される。これを持っていると、他の一般振替口座に送金する時の手数料が安くなるというメリットもある¹⁾。

(2) 銀行振込

ATMを利用しての振込であれば、手数料が(1)よりもかかるが、便利だと考えられる(病院内に取引銀行のATMが設置されていると思う)。振込の際に、複写受付番号と振込人を入力してもらう。

(3) 切手、郵便定額小為替送付

料金分の切手や郵便定額小為替を送ってもらう。切手の種類に指定があれば、明記する(少額切手などと指定)。郵便定額小為替とするのは、端数が出ると、発行手数料が余分にかかるため、50円単位の料金であれば、定額小為替を利用できる。

4. 他機関からの文献複写受付

文献複写を受付可能となれば、普段から複写を申し込んでいる図書館に案内を出すこと。冊

子体の目録があれば、それを送る。ホームページ上に公開しているのならば、URLを案内するとともに、説明文をつける。

複写依頼があれば、迅速に処理すること。複写不能の場合は、すぐに謝絶すること。

5. 複写物送付後の処理

複写物送付後、クレームがあれば対応する。入金の確認で複写受付業務が終了となる。期限に遅れていれば督促すること。

Ⅳ. 電子ジャーナルと相互貸借業務

電子ジャーナルに関しては、従来の冊子体資料とは異なった問題が出てくる。相互貸借業務とのかかわりとしては、契約時に、相互貸借業務への提供の可否を確認しておく必要があることだ。許可されていないならば、その雑誌を提供できなくなる。

現在のところ、冊子体と電子ジャーナルの両方を提供している出版社が多いが、電子ジャーナルだけで採算が取れるようになれば冊子体の提供がなくなる可能性がある。また、図書館としても、電子ジャーナルだけを購読するという方向に進むと考えられる。

以前から、電子ジャーナル契約終了後のバックナンバーへのアクセスの問題が指摘されているが、契約期間内でアクセス可能であっても、相互貸借業務には提供できないという問題も生じてくる。

V. 個人レベルでの論文入手方法

PubMedを検索し、必要な論文の抄録を表示させると、フルテキストへのリンクがはられていることがある。リンクへのアイコンをクリックすると出版社等のページに移る。無料のものであればフルテキストへアクセスできるが、有料の場合、User Name、Passwordの入力が求められる。登録ユーザーであれば、それぞれの項目を入力すればよいのだが、未登録であっても、論文ごとに料金を支払うことによりフルテキストを入手する方法が書かれており、その手

続きをすればフルテキストを入手できる。

このように、図書館を経由せずに個人レベルで必要な論文を入手できる状況になっている。

VI. おわりに

相互貸借業務で依頼と受付の不均衡はどこの図書館でもある。NACSIS-ILL 関係統計にある依頼・受付件数一覧²⁾によると、平成13年度では、複写受付件数順一覧の上位を外国雑誌センター館と国立国会図書館が占める(図1)。この統計を見ると、大学図書館間でも必ずしも「相互」になっていないことがわかる。

インターネットの普及により、個人が各種データベースにアクセスできるようになっている。今までは、MEDLINE を検索するためには、データを購入し、利用者に提供していた。しかし、PubMed は誰でも利用できる。医学中央雑誌も、医中誌 Web に個人向けのサービスがある。NACSIS Webcat により、全国の大学

図書館等の所蔵がわかるようになった。これらの動きは図書館にも影響を与えている。以前であれば、図書館に来なければデータを検索できなかったのだが、個人のパソコン上で検索し、その場でフルテキストの入手まで可能となっている。

相互貸借業務の処理件数には限界があり、無制限に受け付けるということは難しくなるだろう。今後、総件数の抑制を考えて図書館の運営を行わなければならないだろう。

参考資料

- 1) 郵便局の送金サービス使いこなしガイド はじめての一般振替口座. [引用 2002-09-30]. http://www.swa.gr.jp/soukin/yubin_a2.html
- 2) NACSIS-ILL 関係統計. [引用 2002-09-30]. <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/ILL/stat-index.html>

| | 複写依頼件数順一覧 | | 複写受付件数順一覧 | | 貸借依頼件数順一覧 | | 貸借受付件数順一覧 | |
|----|-----------|------|-----------|-------|-----------|------|-----------|------|
| | 件数 | 機関名 | 件数 | 機関名 | 件数 | 機関名 | 件数 | 機関名 |
| 1 | 11797 | 医師会 | 43004 | 阪大生 | 2121 | 筑大 | 1635 | NDL |
| 2 | 10121 | 岡大 | 23829 | 九大医 | 1688 | 日文研 | 1611 | 九大 |
| 3 | 8998 | 筑大 | 20690 | NDL | 1403 | 京大 | 1602 | 筑大 |
| 4 | 8989 | 連中 | 20588 | 東大農 | 1348 | 東北大 | 1535 | 金大 |
| 5 | 8390 | 長大医 | 17660 | 東北大医 | 1237 | 広大中 | 1457 | 一橋 |
| 6 | 8114 | 理研 | 16517 | 東工大岡 | 1162 | 金大 | 1426 | 京大 |
| 7 | 7962 | 浜医大 | 12552 | 京大 | 1098 | 阪大 | 1423 | 東大総 |
| 8 | 7765 | 琉大 | 12484 | 京大医 | 984 | 新大 | 1414 | 北大 |
| 9 | 7585 | 旭医大 | 11343 | 東大医 | 846 | 九大 | 1407 | 神大人社 |
| 10 | 7519 | 阪府大 | 10783 | 九大 | 793 | 北大文 | 1067 | 東北大 |
| 11 | 7190 | 取大医 | 10372 | 東大総 | 788 | 岡大 | 1044 | 新大 |
| 12 | 7119 | 鹿大桜 | 10304 | 横浜市大 | 775 | 一橋 | 980 | 名大 |
| 13 | 7049 | 京大医 | 9401 | 名大 | 765 | 熊大 | 855 | 明学大 |
| 14 | 6870 | 岐大 | 9166 | 慶大医 | 734 | 神大人社 | 811 | 日文研 |
| 15 | 6690 | 分医大 | 8708 | 一橋 | 646 | 鹿大 | 808 | 静大 |
| 16 | 6686 | 阪市大医 | 8595 | 金大医 | 624 | 横国大 | 807 | 富大 |
| 17 | 6626 | 九大医 | 8346 | BLDSC | 618 | 琉大 | 790 | 武蔵大関 |
| 18 | 6594 | 金大 | 8245 | 東医大 | 605 | 立命館 | 772 | 阪大 |
| 19 | 6536 | 重大 | 8244 | 秋大医 | 605 | 千大 | 766 | 広大中 |
| 20 | 6403 | 新大 | 8147 | 広大医 | 602 | 北教大旭 | 730 | 阪市大 |

図1. 平成13年度 NACSIS-ILL 依頼・受付一覧 (上位20まで抜粋)